**平成２８年度第２回大阪府泉州保健医療協議会概要**

日時：平成２８年９月２９日（木）１４：００～１６：００

場所：テクスピア大阪４０２会議室

**■議題　泉州病床機能懇話会及び泉州在宅医療懇話会について**

**①泉州病床機能懇話会について**

**（資料に基づき、事務局（和泉保健所）から説明）**

　（資料１－１）　泉州病床機能懇話会委員等名簿

　（資料１－２）　第１回議事録

　（資料１－３）　第２回議事録

　（資料１－４）　病床機能懇話会意見交換結果シート

　（資料１－５）　平成28年度泉州病床機能懇話会の進め方について

　（資料１－６）　「平成27年度病床機能報告」からみた各医療機関の情報

　（資料１－７）　病院における人口10万人当たり病床数の分布と医療機関ごとの

医療機能別の病床数

　（資料１－８）　病床機能転換の計画状況について

　（資料１－９）　泉州圏域における各医療機関の情報

　（資料１－１０）　泉州圏域における医療需要に関するデータ

病床機能懇話会意見交換結果シートについては、今の意見を加味して本庁に提出することで了承。

**（主な意見・質問等）**

○　基準病床数と必要病床数の関係がどういうふうになるのか、考え方を早急に示してほしい。

○　診療報酬改定で病床転換を誘導しているので、地域医療構想の中で性急に病床転換を求めることのないようにしてほしい。

**（主な大阪府の回答）**

○　診療報酬と基準病床数については、国の動きを見据えながら、今後の地域医療構想の進め方を検討したい。

○　現在、病床転換は医療機関の自主的な考えで行われており、府及び保健所は、地域の状況の把握に努め、各医療機関が考える際の判断材料を提供するのが役割。

**■議題　泉州病床機能懇話会及び泉州在宅医療懇話会について**

**②泉州在宅医療懇話会について**

**（資料に基づき事務局（泉佐野保健所）から説明）**

（資料２－１）　泉州在宅医療懇話会委員等名簿

　（資料２－２）　第１回議事録

　（資料２－３）　第２回議事録

　（資料２－４）　在宅医療懇話会について

　（資料２－５）　在宅医療懇話会検討結果整理シート

　（資料２－６）　「在宅医療懇話会検討結果整理シート」アンケートによる泉州圏域の在宅医療に係る現状と課題、提案・要望のまとめ

在宅医療懇話会検討結果整理シートについては、概ね１週間程度の間に各委員の意見を泉佐野保健所にいただき、その意見を加えて本庁に提出することとなった。

**（主な質問・意見等）**

○　資料２－６に　「③在宅薬事の現状と課題」とあるが、「在宅薬事」という言葉はわかりにくい。「薬剤管理指導の支援窓口」という言葉もわかりにくい。

○　資料２ー６を見ると、在宅医療コーディネーターが全部やってくれるのかと誤解される気がする。基金事業で行われている地区医師会の在宅医療コーディネーターは、在宅医療をいかに増やすかというのが大きな目標で、個別の患者さんを振り分けるものではない。

○　在宅医療コーディネーターはきちっとした形であれば、振り分けではなしに、ケアマネジャーを少し統括するような形での大きな見地でのプランニングをやっていただきたいと思っているが、そうなっていない現状がある。

○　泉南医師会の在宅医療コーディネーターの仕事は、各急性期の病院に案内状を送って、在宅が必要な方の連絡を受け、ケアマネや訪看さんと相談しながら各地域の医師会の先生方に振り分けて在宅をお願いする役割をしている。

○　泉南医師会がそういう形で在宅医療コーディネーターをされているのは素晴らしい。最終的にはそういうのを目指してもらいたい。ただ、多くの医師会の中で在宅医療コーディネーターの方が患者さんを振り分けているかは疑問。

○　日本医師会も大阪府医師会も、まずやりたいのは在宅医ではなく、かかりつけ医制度。自分が診ている患者は自分で守備しようということになれば、特に在宅医を公募しなくても、いけるのではないかと考えている様子。

○　在宅医療コーディネーターは単年度事業なので人材が集まらないことが一番のネックだと思う。

○　在宅用のＩＣカードを作成し、高度医療の受療拒否等の意思表示をしておくことで、療養型の病院も緊急の受入先となりうる。

○　資料２ー３「第２回議事概要」５ページの「患者にＩＣカードを持ってもらうことにより、孤独死であっても検死の必要がなくなることも考えられる。」というのは、誤嚥や何か不測の別疾患の事故もありうるので、言い過ぎ。

○　資料２－５「在宅医療懇話会検討結果整理シート」１１ページの「急変時の対応について、表示意思カード等あれば対応がスムーズ」というのは、living willが法制化されていない日本では、ちょっと言い過ぎ。自分の意思というのは、その時々によって変わることがあるので、終末期であっても気を付けることが必要。

**（主な大阪府の回答）**

○　資料２ー６は、大阪府に提出する資料ではなく、在宅医療懇話会で３グループに分かれてご検討いただくところでの参考資料として作成したものなので、ご意見をいただいたところは訂正して利用していきたい。

○　「在宅薬事」について、どのような言葉がいいか、また相談させていただきたい。

**■議題　泉州病床機能懇話会及び泉州在宅医療懇話会について**

**③　地域医療介護総合確保基金事業についての質疑・意見**

**（資料に基づき、事務局（和泉保健所）から説明）**

（資料３）　地域医療介護総合確保基金事業アンケート結果

原案どおり承認された。

**■議題　泉州救急懇話会について**

1. **泉州救急懇話会報告**

**（資料に基づき、事務局（岸和田保健所）から説明）**

（資料４）　泉州救急懇話会報告

**■議題　泉州救急懇話会について**

1. **泉州圏域における傷病者の搬送及び受入れの実施基準の一部改正について**

**（資料に基づき、事務局（岸和田保健所）から説明）**

（資料４）　泉州救急懇話会報告

　質疑の後、原案どおり承認された。

**（主な質問・意見等）**

○　現場滞在３０分以上、あるいは搬送依頼５件以上で、まもってＮＥＴを使用してよいという文言は現状に合わないので削除したいということだが実態はないのか。

○　救急懇話会の方はオーケーなのか。

**（主な大阪府の回答）**

○　２７年度は１１件あるが、実際にはオンラインＭＣを通じて、すでに三次救急告示医療機関に消防隊の方が連絡をして、搬送先を調整してもらうという対応をしている。

○　救急懇話会で改正案をつくったが、法定計画なので保健医療協議会のご承認をいただきたい。

**■議題　各検討会の報告**

1. **泉州地域リハ連携会議・脳卒中地域連携パス運用会議報告**

**（資料に基づき、委員から報告）**

（資料５）　泉州地域リハ連携会議・脳卒中地域連携パス運用会議報告

**■議題　各検討会の報告**

1. **泉州がん診療連携ネットワーク会議報告**

**（資料に基づき、委員から報告）**

（資料６）　泉州がん診療連携ネットワーク会議報告

**■議題　次期保健医療計画（第７次）策定スケジュールについて**

**（資料に基づき、事務局（和泉保健所）から説明）**

（資料７）　次期保健医療計画（第７次）策定スケジュールについて

**■議題　その他**

**（主な意見・質問等）**

○　一昨年度、日本で麻疹撲滅計画が出て、撲滅宣言が出されたが、今年度、関空で麻疹の大阪府内への拡大感染があった。それについて対策やＭＲワクチンの供給体制が大阪府内で問題になっているが、拡大報告が出ていないので収束に向かっていると思うが、泉州が地元なので泉州保健医療協議会の場で具体的なお話をいただきたい。

○　感染症の大きな動きがあった場合とか、大きな不測の事態、混乱が生じるような場合は、保健医療協議会が開かれない場合は、事前のいろんな連絡事項を各地区医師会など関係者に入れていただいたら、対応がスムーズにできると思うので、お願いする。

**（主な大阪府の回答）**

○　関空の事業所職員という意味では、新たな発症はないので収束に向かっている。

ワクチンに関しては、確かに３００人に対してある程度行き渡った。子どもの定期摂取が最優先だが、それ以外必要なところには国から供給いただくことになった。千葉県の松戸市や兵庫県の尼崎市も必要ということがあり、希望者の数をしっかり把握して進めていきたい。

○　時間を取って報告ができる機会があれば、させていただきたい。